

安全ブロック

リース品

販売品



HD-12



HD-15

信頼の商品。墜落落下防止のスタンダード器 タフブロック(ワイヤー式)

特長

1. ガラス繊維入り強化プラスチックはとにかく頑強! 強い衝撃にもほとんど割れや変形を生じることがなくしっかりとケース内部のメカニズムを守ります。
2. ワイヤロープ・フックならびにケース内部の主要部品に高品質のステンレススチール材を多用することで、サビの発生を最小限に抑えて、高い耐食性を実現しました。
3. 新開発の衝撃吸収機構により、墜落防止時に人体に負荷されるショックを半減します。
4. ワイヤロープのロックの方式は「ロック爪蹴り上げ式」。爪部分が凍結すると、ワイヤロープ自体が引き出せなくなり、寒冷地での危険使用を未然に防止します。
5. 使用重量(使用者の体重+着衣・装具の総重量)の最大値は日本製で最高水準の130kgと余裕があります。

規格

| | HD-12 | HD-15 |
|------|-------|-------|
| 長さ | 12.0m | 15.0m |
| 本体重量 | 4.9kg | 6.3kg |

※20m・25mも御用意出来ます。

◎製品は3年に1度発売元またはその認定工場による定期分解点検が必要です。

ご使用上の注意

- 使用前に正常に作動するか確認して下さい。
- 垂直作業専用にして下さい。
- 取付箇所には、墜落時の衝撃にも十分耐えられる強固な対象物を選んで下さい。
- 帯ロープを引き出して作業する時ロープが周囲構造物の鋭角部に触れないように配慮して下さい。
- 取付部センターより左右30度以上の水平移動は危険です。また、墜落時に周囲や下方の構造物に振られて激突することのないように配慮して下さい。
- 万一墜落が起きたとき、ワイヤロープが構造部の鋭角部に直接接触していると切断されることがあります。これを避けるため、使用状態には十分注意して下さい。
- 製品を投げたり引きずったりしないで下さい。
- 1台の製品を同時に2人以上で使用はできません。
- 詳しい使用方法や注意事項は、製品のラベル及び取扱説明書でご確認下さい。



積み重ねても滑りにくくてズレないので安心・安全!

安全ブロック

高所昇降時の確かな信頼品。



M-12型

軽くてタフなロープ巻き取り式セーフティブロック
安全帯構造指針適合品(リトラクタ式墜落阻止器具)

マイブロック(ベルト式)

特長

1. 本体重量がM-15型で4.4kg(帯ロープ長15m)、M-12型で4.3kg(帯ロープ長12m)であるため、軽量で扱いやすく、安定した機能と強度を長期間保持するニュータイプの墜落阻止器具です。
2. ベルト状帯ロープの採用で乱巻きなどの巻き取り不良がなくなりました。また、使用中に帯ロープが周囲の設備・構造物や積荷に触れても、ワイヤーロープのようにキズを付ける心配がありません。
3. ユニークなスロー・wind機構(PAT,出願中)によって、誤って帯ロープを下方からフリーに巻き取らせても、ケース内に急激に巻き込まれることはありません。従って帯ロープとフックの接続部やケースへのダメージが少なく、フックが振られて周囲に危険が及ぶこともなくなります。
4. ワイヤー式セーフティブロックと同様にメーカーで分解点検・部品交換(有償)ができるので、長期間安全にご使用いただけます。
5. 帯ロープ(ストラップ)式セーフティブロックには、全機種に取付用カラビナが付いています。

規格

| | M-15型 | M-12型 |
|-----------|---|--|
| 本体重量 | 4.4kg | 4.3kg |
| 帯ロープ | 幅30mm×厚さ1.6mm 長さ15m 本体アルミ合金製回転式軽量フック付 | 幅30mm×厚さ1.6mm 長さ12m 本体アルミ合金製回転式軽量フック付 |
| 使用荷重の範囲 | 30~120kg | |
| 破断強度 | 33kN | |
| 性能 | 厚生労働省「安全帯構造指針」の定める“連結部の強さ”、“ロック性能”、“衝撃吸収性”、“落下距離”の要求値を満足する。 | |
| ケース本体の大きさ | L=270mm W=206mm T=85mm | |

※製品の本体重量は、取付用カラビナと引き寄せロープを除く重さです。

関連商品



リフティングポスト

ご使用上の注意

- 十分な強度をもつ製品でも、取扱説明書に基づいた日常・定期点検が必要です。
- 使用前に正常に作動するか確認して下さい。
- 垂直作業専用にして下さい。
- 帯ロープを引き出して作業する時ロープが周囲構造物の鋭角部に触れないように配慮して下さい。
- 取付部センターより左右30度以上の水平移動は危険です。また、墜落時に周囲や下方の構造物に振られて激突することのないように配慮して下さい。
- 通常使用時は引き寄せロープを使ってゆっくりと帯ロープをケース内に収納して下さい。繰り返し手放して巻き取らせると故障の原因となります。
- 製品を投げたり引きずったりしないで下さい。
- 1台の製品で同時に2人以上使用できません。